

I 谷川俊太郎の詩の魅力

1 初期の詩を中心に

- 一．「朝のリレー」
朗読・田中和子
- 二．「二十億光年の孤独」
朗読・山本和之
- 三．「六十二のソネット」より「四十一」
朗読・松本領太
- 四．「六十二のソネット」より「六十二」
朗読・吉川礼子

4 最近の詩を中心に

- 四．「うそつききつき」
朗読・田中和子
- 五．「うとてとこ」
朗読・松本領太
- 六．「まんじゅう」
朗読・渡利章子
- 七．「なんにもいらなばあさま」
朗読・若狭雅子

2 谷川俊太郎作詞 合唱二曲

大田市少年少女合唱団
指揮・伊藤裕子 伴奏・大畑世理子

- 一．「地球へのピクニック」
朗読・山本和之
- 二．「しみ」
朗読・渡利章子
- 三．「生きる」
朗読・山根美江子
- 四．「さようなら」
朗読・松本領太
- 五．「ありがとう」
朗読・若狭雅子

II 郷土の民話・記録・名作（自由参加）

- 一．「鉄腕アトム」
作曲・高井達夫
- 二．「世界の約束」（ハウルの動く城）
作曲・木村 弓

- 一．民話「浮布の池ものがたり」
朗読・押越幸子
創作・押越ゆき子
絵・石田さちよ

3 いとばあそびうた

- 一．「かつば」
朗読・山本和之
- 二．「いるか」
朗読・吉川礼子
- 三．「ほつとけ」
朗読・山根美江子

- 二．記録「なぜ？大田の漁船が戦場へ！」
文、映像・山尾一郎
朗読・山尾一郎
- 三．創作「希望の木」
作・新井 満
映像、朗読・若狭雅子

Ⅲ あれから七〇年・ヒロシマ・原爆と詩

一. 詩「壊れた空」作・長津功三郎 朗読・山本和之

詩集『影たちの葬列』より

二. 詩「仮繙帯所にて」作・峠三吉 朗読・松本領太

詩集『原爆詩集』より

三. 詩「生ましめんかな」作・栗原貞子 朗読・和上豊子

詩集『私は広島を証言する』より

四. 詩「序・にんげんをかえせ」作・峠三吉 朗読・和上豊子

詩集『原爆詩集』より

五. 詩「燕の歌Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ」作・御庄博実 朗読・洲浜昌三

遺稿詩集『燕の歌』より

本日はご来場くださり、誠にありがとうございます。どうぞごゆくり、朗読や歌をお楽しみください。共に楽しいひとときを過ごしたいと思えます。

劇研「空」は、平成十二年に発足以来、劇以外に様々な朗読会を実施してきました。地域の人たちに呼びかけて実施する朗読会は六回目です。劇の上演もあきらめてはいませんが、時間や経費、発表場所など困難なことが多いのに比べ、朗読は気軽に行えるのがいいところです。

今まで、毎回特集として、詩人を取り上げてきました。今回は、国民的な詩人・谷川俊太郎さんの特集です。実は九月の「しまね文芸フェスタ」で谷川さんと対談し、詩を劇研「空」が朗読することになっています。その前哨戦でもあります。大田市少年少女合唱団のみなさんには今回も華を添えていただき感謝しています。

Ⅳ 朗読劇「吉川経家最後の手紙」

―福光不言城の子どもたちへ―

創作・洲浜昌三

大田市福光に「不言城」（物不言城、福光城とも呼ばれている）があります。城主・吉川経家は、広島毛利氏や吉川に選抜されて鳥取城の城番に任命されます。鳥取城は秀吉の大軍に囲まれ、「渴え殺し」作戦で、多くの餓死者を出しました。その時、経家はどうしたでしょう。

劇ではなく、朗読で挑戦します。メンバー不足でダブルキャストですが、劇研「空」以外の協力も得て、朗読します。いつか劇にしたいものです。

・解説・渡利章子

・吉川経家・松本領太

・吉川経安・山尾一郎

・福光小次郎・山本和之

・野田春実・山尾一郎

・森下道馨・山本和之

・中村春統・山本和之

・経家の妻・田中和子

・亀寿丸（長男十三歳）・吉川礼子

・あちやこ（長女）・若狭雅子

・竹松（三男）・田中和子

・山県長茂・洲浜昌三

台本作成、映像作成をはじめ、上演までには多くの方々のご協力をいただきました。心よりお礼を申しあげます。

